



GOZARU

no ZA 狂言 ござる乃座
54th

2016.10.20 木 Open/18:15・Start/19:00
2016.10.23 日 Open/13:15・Start/14:00

国立能楽堂

萩大名

HAGI DAIMYO

連歌盗人

RENGA NUSUBITO

首引

KUBIBIKI



M A N S A I

N O M U R A

稲葉 俊郎 (医師)

萬齋さんとは、『MANSAI 解体新書
その式拾六』(世田谷パブリックシアター)
にて、ギタリストの大友良英さんと一緒に
共演させていただきました。その瞬間にし
か生まれない場が立ち上がり、素晴らしい
会でした。萬齋さんという果てしなく深く
広い器の中で、出演者は触媒となり、お客
さんも含めた場全体が化学反応を起こし
ていました。舞台は、あたまで知的に理解
するためのものではなく、からだ全ての細
胞で感じ、豊かになるために行くものだ
と思います。質の高い芸術により、いのち本
来の全体性や調和が取り戻されます。だ
からこそ、舞台などの空間芸術には極めて
医療的な側面があります。現代医学が見
落としていることです。自分はそうした観
点からも芸術を愛し、古典芸能への深い敬
意を持ち、能楽の稽古に励んでいます(親
世流梅若派能楽師 井上和幸先生)。

萬齋さんは野村家の長男として狂言師
を受け継ぐ傍ら、世田谷パブリックシア
ター芸術監督もされ、ゴジラにもなり、ご
活躍は多岐にわたります。萬齋さんは、芸
能を持つ可能性を信じ、受け取った全てを
広い視野で次の世代に受け渡そうとされて
いると思います。「みずから」受け継ぐ強
い覚悟と、「おのずから」の流れ。そのあ
わいの力を萬齋さんの存在から感じます。
ギリシヤのエピダウロスに、紀元前4世
紀に作られた古代円形劇場(世界文化遺
産)がありますが、そこはギリシヤ神話
に登場する医療と健康の神(アスクレピオ
ス)の聖地でもあります。この地に足を運
んだとき、総合的な医療施設だと思いまし
た。劇場以外にも、温泉場、神殿が広く
配置され、心や体の全体性を取り戻すた
め、芸術や温泉を含めた心身の総合的なケ
アが行われていたのです。神殿には眠る場
所もあり、そこで見る夢にはアスクレピオ
スが現れ、眠りや夢見体験そのものが人間
の全体性を回復する聖地でした。

日本では、能や狂言や神楽など、伝統
芸能や祭りの形で先人の技や思いは伝わっ
ています。日本人は、文字で情報を伝える
のではなく、身体言語としてからだで一人
一人に伝えていく手段をとりました。なぜ
なら、からだは嘘をつけないからです。身
体言語は「型」として伝承され、美へと変
換され、能や狂言として体験します。型は
体の自然に沿った調和的だからだの在り方
でもあり、伝統芸能ではたまたまいただけ
(そこにいるだけ)で美しいのです。筋肉
と骨、からだは対立せず、からだ全体が調
和的だからこそ、年をとればとるほど動き
の質は深まり、美しさを増していくのです。
美は調和であり、いのちの原理そのもので
す。伝統芸能は「いのち」を受け継ぎ、私
たちを支えるいのちへと働きかけます。日
常と違う夢見の意識状態で舞台を体験す
ることは、いのち、からだ、こころ全体の
調和にもつながるのです。

萬齋さんをはじめ、日々の稽古で先人の
いのちを伝える尊いお仕事をされている皆
様が日本の靈性を深層で支えています。舞
台を支えるすべての方に深い敬意を持って
おります。舞台にいつも感動しています。
本当にありがとうございます。